



## ★『関西学院史紀要』第27号の発行

3月15日に『関西学院史紀要』第27号を発行しました。6号以降は「関西学院大学リポジトリ」に登録されています。印刷物をご希望の場合は学院史編纂室までご連絡ください(創刊号、2号、12号、13号、15号、24号は在庫なし)。

〔論文〕	世界を跨ぐ平和演説家 乾精末の青年時代 — 誕生から1912年の一時帰国まで — マサコ・N・レイセル フィランデル・スミス・メソヂスト一致神学校から関西学院神学部へ — 最初期の神学部編入学生と新入学生解明の試論 —	神田健次
	W. R. ランバスが日本から送った最初の報告書 — 『南メソヂスト監督教会伝道局第41回年次報告』とピンソン著『ランバス伝』 —	池田裕子
	熊谷鉄太郎の生涯と思想 — 戦前を中心とした覚書 —	室田保夫
〔寄稿〕	トロント大学留学記(3) — ミシガン州立大学での博士号取得までの道のり —	武田 建
〔資料〕	神崎驥一日記(1) “JAPAN MISSION,” <i>Forty-first Annual Report of the Board of Mission of the Methodist Episcopal Church, South, May 1, 1887</i>	井上琢智

## ★向日市文化資料館「寿岳文章 人と仕事」展への協力

2021年1月23日から3月21日まで、向日市文化資料館で標記展覧会が開催され、学院史編纂室より貸し出した本人と岩橋武夫の卒業論文が展示されました。二人は、1919年から23年まで高等学部文科英文学科で学んだ同級生です。なお、英文学者で、和紙研究者としても知られている寿岳が1933年から暮らした「向日庵」(京都府向日市)は、2009年に「京都府の近代和風建築」に指定されました。2017年には現地保存と公的活用を目指し、特定非営利活動法人向日庵が立ち上げられ、活発な活動が続けられています。

## ★池内信行教授の肖像写真の寄贈

池内記念館(西宮上ヶ原キャンパス)が取り壊されることを耳にされた大前朔郎名誉教授(元経済学部教授)のご遺族が、池内信行教授の写真を2点、学院史編纂室にご寄贈くださいました。いずれも、大前教授が生前大切にされていたもので、内1点【右】は留学中に撮影されたものだそうです(1918~22年:コロンビア大学、1922~23年:ベルリン大学、1929~30年:ベルリン大学)。



## ★高等部生11人が制作した「KG PEACE MAP」への協力

高等部が「平和構築」をテーマに取り組んでいる2年生必修選択授業「ハンズオンラーニング」(担当:西室雅史教授)のために、学院史編纂室は資料や写真を提供し、旧院長室に残る奉安庫を紹介するなど、協力して参りました。それらに関心を抱いた受講生は、自分たちにとって身近な「関西学院と戦争」に焦点を絞ってアイデアを練り、ARウォーキングマップ「KG PEACE MAP」を完成させました(AR:拡張現実)。このマップを手で西宮上ヶ原キャンパスを歩き、地図上にあるスポットでスマートフォンやタブレットをかざすと、説明や写真、動画が目の前に浮かび上がるというものです。

マップをご覧になった法学部の高島千代教授は、「『平和』という観点から入れるべきところはすべて入っていて、素晴らしい企画です」とコメントされました。4月22日には、かねてより大学の授業に奉安庫の見学等を取り入れて来られた同教授のゼミで高等部生が成果を発表する予定です。

